

皆様の「かしてつバス」が表彰を受けました！

鉄道をバス道に変えて運行が始まった「かしてつバス」は、公共交通の新たな手法として今注目を浴びています。

テレビや新聞などによる報道をはじめ、多くの関係者が視察に訪れるなど、「かしてつバス」は今、各方面から高い評価を受けております。こうした中、受賞しました3つの表彰をご紹介します。

◆全建賞

『鹿島鉄道跡地バス専用道化事業』全国初の公設民営(BRT)』

社団法人全日本建設技術協会主催による表彰事業において『平成22年度全建賞』を受賞しました。

これは、「建設技術の活用」「公共事業の進め方やストックの運用の工夫等」により、特出した成果の得られた事業や施策に贈られる表彰です。

◆まちづくりグリーンリボン賞

『鹿島鉄道跡地バス専用道化事業』全国初の公設民営(BRT)』

茨城県主催によるうるおいのあるまちづくり顕彰事業において、『まちづくりグリーンリボン賞』を受賞しました。

これは、うるおいのある景観や優れた住環境の整備、各種のまちづくり活動の実践など、まちづくりに功績のあった個人や団体を表彰するものです。



◆第30回まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰

『全国初の公設民営方式によるBRTの整備により、地域の活性化や交流拡大に貢献』

まちづくりと景観を考える全国大会において、地域の活性化や交流拡大等に貢献したことが認められ、国土交通大臣賞を受賞しました。これは、魅力あるまちづくりの推進に努め、特に著しい功績のあった個人又団体をまちづくり功労者として表彰するものです。



～地域の皆様が沿線を彩る～

【石岡市】

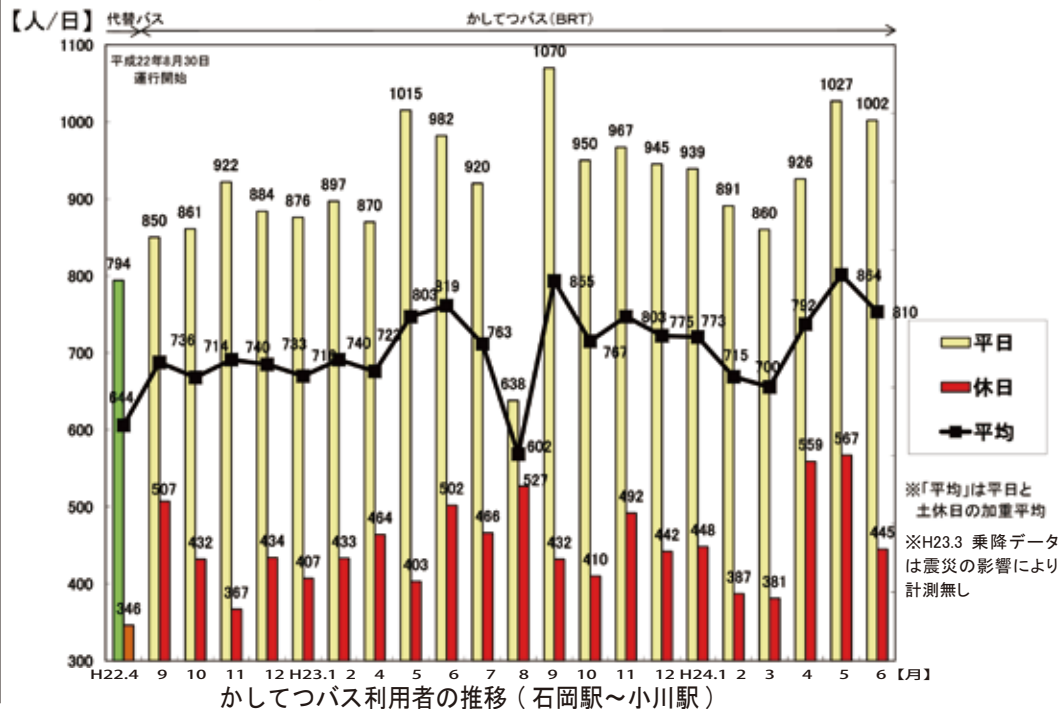
南台一丁目バス停付近に昨年10月、沿線の方々やバス事業者及び行政の三者が協働で植栽したアジサイがきれいに咲き、利用者の目を楽しませていきます。

来年は、さらに多くの花が咲くことを期待しています。



【小美玉市】

四箇村駅バス停付近に今年4月、沿線の新しい田木谷ほのぼの会の皆様が植えたアジサイやマリーゴールドがきれいに咲き、新木ノ内バス停の花壇では、沿線の方が植えたサルビアとマリーゴールドがきれいに咲き、車窓を彩っています。



渋滞無縁!

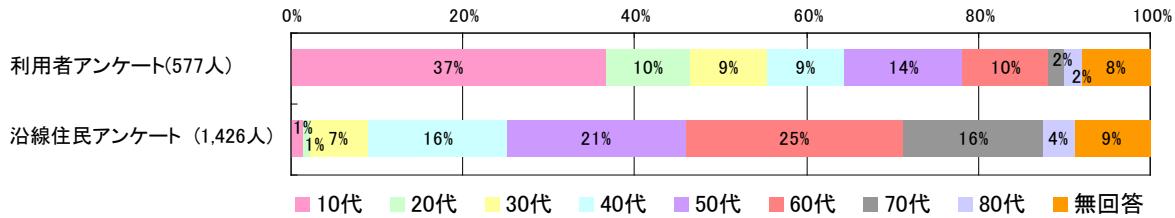
編集発行：かしてつ沿線地域公共交通戦略会議事務局
石岡市企画課 (☎0299-23-1111)
小美玉市企画調整課 (☎0299-48-1111)



かしてつバス実証運行に関するアンケート結果の報告

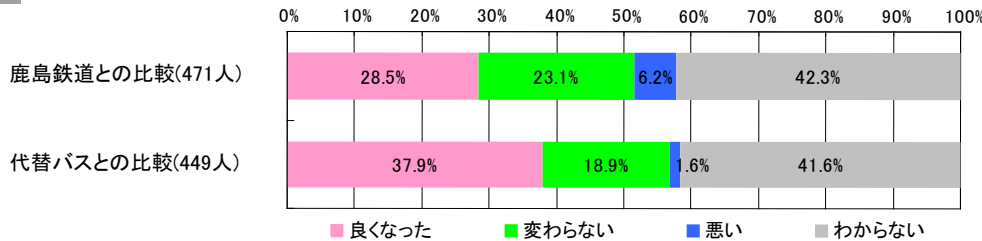
かしてつバスの利便性向上や利用状況・需要動向を把握した上で、より日常生活に密着した公共交通網を形成することを目的として、平成23年12月に実施した、かしてつバス利用者と沿線住民を対象としたアンケート調査の主な結果をお知らせいたします。

かしてつバス利用者調査アンケートでは577人、沿線地域住民アンケートでは1,426人の皆様から回答を頂きました。下のグラフはその年代別の内訳です。



～利用者アンケート結果から～

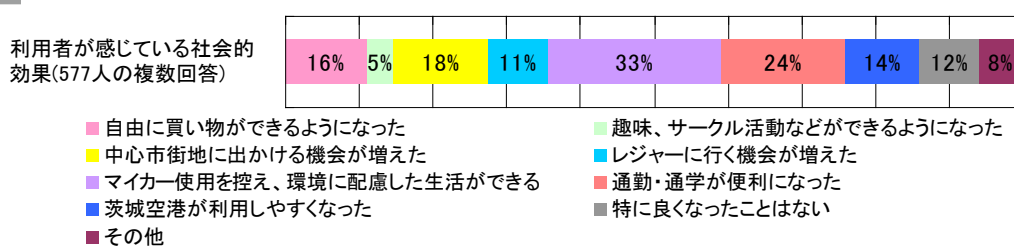
かしてつバスと旧鹿島鉄道及び代替バスとの利便性比較



・旧鹿島鉄道との利便性比較についてみると、28.5%の方が、良くなったと感じています。
 ・代替バスとの利便性比較についてみると、37.9%の方が、良くなったと感じています。
 ※代替バスとは、鹿島鉄道廃線後に国道355号を運行していたバスをいう。

～沿線住民アンケート結果から～

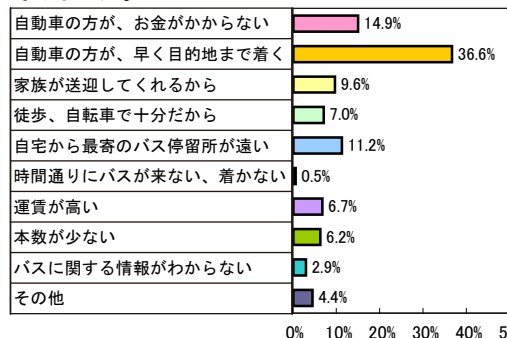
かしてつバス導入による社会的効果



マイカー利用を控えることによって環境に配慮できている、通勤・通学が便利になった、中心市街地に出かける機会が増えたという回答が多くなっている。

かしてつバスを利用しない理由

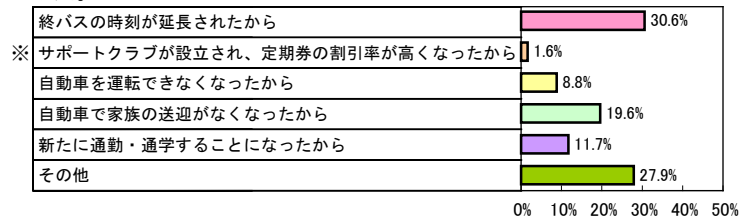
バス路線の沿線に目的ある方で、かしてつバスを利用していないと答えた377人の方から、その理由を聞いてみました。



利用しない主な理由として、自動車の方がお金がかからない、自動車の方が早く目的地まで着くという回答が合計51.5%を占めている。

かしてつバスを利用し始めた理由

日頃からかしてつバスを利用していると答えた589人のうち、平成23年4月から利用し始めた109人の方から、その理由を聞いてみました。



利用し始めた理由として、終バスの時刻が延長されたからが30.6%となっている。

※「かしてつバスサポーターズクラブ」が、平成23年度に実施した定期券の特割り制度は現在廃止されております。